

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和7年11月1日 第82号 9月定例会・10月臨時会の内容を分かりやすくお伝えします。

新体制、始動
—動き出すまちづくりのステージ—



CONTENTS

- 改選後の新しい議会……………P 2
- こんなことが決まりました…………P 4
- 聞いてみたいなこんなこと…………P 8
- 市政懇談会でのご意見等…………P12
- きかせて！あなたのミライ…………P16

新議長として演壇で抱負を述べる後藤議員
(大曲庁舎本会議場、10月6日)



改選後の新しい議会がスタートしました

10月6日に第2回臨時会が開催され、大仙市議会第7期目がスタートしました。本会議では議長と副議長の選挙が行われ、議長への立候補者が1名であったことから、臨時議長の指名推選により後藤健議員が議長に選出されました。副議長も、立候補者が1名であったことから、議長の指名推選により、大山利吉議員が副議長に選出されました。

また、追加提案された議会選出の監査委員として、橋村誠議員が選出されました。



議長就任あいさつ

市民の皆さまには日ごろより、市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

先般開催された市議会臨時会において、市議会議長に就任いたしました。改めてその職責の重さを痛感し身の引き締まる思いでおります。

さて、大仙市は今年、市町村合併から20年の節目を迎えました。これまでの20年、各地域が均衡ある発展を目指し、それぞれに特色ある取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、止まらぬ人口減少に物価の高騰、農業を取り巻く環境の変化、公共施設の維持運営など大仙市が抱える課題は山積しておりますが、議員一人一人が議員として、議会が議会としての責務をしっかりと果たすことで、それら諸課題の解決と、明るく豊かな大仙市の未来につながるものと確信しております。市民の皆さまには大仙市議会に対しても今後ますますのご理解とご協力、そして叱咤激励を賜りますことをお願い申し上げ、議長就任に当たってのご挨拶といったします。

(議長 後藤 健)

議会の構成 [○委員長 ○副委員長]

議会選出監査委員

橋村 誠

議会運営委員会

◎佐藤 育男

○高橋 徳久

菊地 育男

○佐藤 安達

菊地 成年

秩父 博樹

○佐藤 佐藤

山谷 友哉

○佐藤 梓

青柳 德久

○佐藤 高橋

佐藤 高橋

○佐藤 青柳

○佐藤 佐藤

○佐藤 小笠原昌作

○佐藤 高橋

○佐藤 青柳

○佐藤 古谷

○佐藤 本間

議会改革推進会議

広報広聴常任委員会

大仙美郷介護福祉組合議会議員

議員定数等検討会議	大曲仙北広域市町村圏組合議会議員
小須田逸子	後藤 健
佐藤 文子	大山 利吉
菊地 伸	利吉
佐藤 安達	佐藤 健
安達 成年	佐藤 健
佐藤 高橋	佐藤 健
高橋 徳久	佐藤 健
菊地 武美	佐藤 健
佐藤 隆康	佐藤 健
古谷 琢史	佐藤 健

秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

議員定数等検討会議	大曲仙北広域市町村圏組合議会議員
小須田逸子	後藤 健
佐藤 文子	大山 利吉
菊地 伸	利吉
佐藤 安達	佐藤 健
安達 成年	佐藤 健
佐藤 高橋	佐藤 健
高橋 徳久	佐藤 健
菊地 武美	佐藤 健
佐藤 隆康	佐藤 健
古谷 琢史	佐藤 健

民生委員推薦会議員

青少年問題協議会議員

都市計画審議会議員

議員定数等検討会議	大曲仙北広域市町村圏組合議会議員
小須田逸子	後藤 健
佐藤 文子	大山 利吉
菊地 伸	利吉
佐藤 安達	佐藤 健
安達 成年	佐藤 健
佐藤 高橋	佐藤 健
高橋 徳久	佐藤 健
菊地 武美	佐藤 健
佐藤 隆康	佐藤 健
古谷 琢史	佐藤 健

第3回定例会 第2回臨時会

議案審議

大仙市の こんなことが決まりました

第3回定例会 会期28日間 8月22日～9月18日

第2回臨時会 会期1日間 10月6日



令和7年
第2回臨時会



令和7年
第3回定例会

第3回定例会

人事案	5件
条例案	5件
単行案	7件
補正予算案	6件
決算認定	19件
陳情	4件
意見書案	3件

第2回臨時会

人事案	1件
-----	----

今号では
この中から
4つを
Pick up

ページをこご覧ください。
全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページ



議案の審議結果

Pick up 1

小学校の給食費も 10月から無償化します。

令和7年4月からの中学校の給食費無償化に加え、10月からは小学校の給食費も無償化します。食物アレルギーなどの理由で弁当を持参している児童や、市外の学校等に通う児童には、保護者に対して給食費相当額を補助金として交付します。

こんな質問が出ました

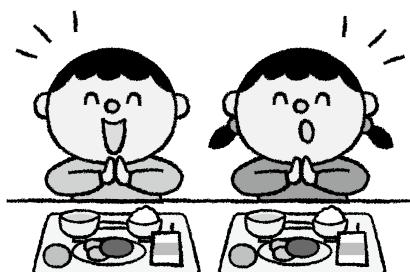
Q

小学校の学校給食無償化について、その経緯および

今後の国の動向の見通しについて伺う。

A

今後の国の動向について、現時点では詳しい情報はないが、小学生の学校給食無償化については府内の子育て支援制度等検討会議などで協議された結果である。



（議案第828号）令和7年度大仙市一般会計補正予算（第4号）
（議案第829号）令和7年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第2号）

Pick up 2

大雨被害を受けた農家を支援します。

令和7年8月19日からの大雨により農地・農業用施設が被災したことを受け、復旧に当たる農家の負担を軽減し、経営の安定を支援するため、復旧費の一部を補助します。

こんな質問が出ました

Q 県の補助金（3分の1以内）分について、土地改良区と農家・水利組合の補助金申請方法の違いについて伺う。



大雨により崩落した畦畔

Pick up 3

熱中症予防のためにエアコン購入費を助成します。

物価高騰が続く中、経済的な理由でエアコンの購入が困難な世帯を対象に、熱中症による健康被害の防止を目的として、購入費の一部を助成します。

対象となるのは、市内に居住し、世帯員全員が住民税非課税または生活保護を受給している世帯です。

Pick up 4

原料米高騰支援を行います。

昨今の急激な米価上昇により経営に大きな影響を受けている市内の酒造業者や味噌・醤油業者を対象に、経営の維持・安定を図るため、令和7年産原料米の仕入高騰分の一部を支援します。



「熱中症予防エアコン購入支援事業」
について詳しくはこちら

令和6年度決算を認定

9月4日、5日、8日に各委員会で令和6年度決算の審査が行われ、9月18日の本会議で全会計の決算が認定されました。

各委員会の主な審査意見をご紹介します。

令和6年度会計別決算

(単位：円)

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	53,948,404,955	51,573,794,912
国民健康保険事業	7,921,268,214	7,765,020,477
後期高齢者医療	1,139,961,751	1,139,651,551
学校給食事業	1,151,588,590	1,151,230,080
奨学資金	36,336,272	25,248,006
企業団地整備事業	469,690,793	469,690,793
スキーチャンピオン事業	156,792,582	155,194,582
太陽光発電事業	165,827,366	152,247,119
小水力発電事業	855,297	855,297
財産区(6地区)	28,465,416	8,636,017
市立大曲病院事業	971,085,165	926,391,771
上水道事業	99,404,000	160,093,664
簡易水道事業	875,054,255	763,156,775
下水道事業	52,773,410	418,902,750
受益的収支	1,268,414,862	1,062,966,517
資本的収支	376,632,500	1,035,128,775
受益的収支	3,420,792,609	2,783,805,573
資本的収支	1,585,337,130	2,491,107,897
合 計	73,668,685,167	72,083,122,556

※企業事業について、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしています。

総務企画常任委員会

○ 庁舎整備基金の積立については、必要となる経費をできる限り早期に具体化し、その水準を踏まえて積み立てを行われたい。

○ アーカイブズについては、文書整理完了の目標年限に向け、効率的な作業体制を模索しつつ進められたい。あわせて、古文書等のデジタル化を一層推進するとともに、将来、保管容量が不足する場合に備えた対応についても検討されたい。

○ 地域公共交通については、アンケートや聞き取りなどによる調査を継続し、変化する市民ニーズを的確に把握しながら、適宜、交通体系の見直しに反映されたい。住民の共助による移動支援については、完全なボランティアでは継続が難しくなることも考えられることから、ドライバーへの報酬などの必要経費を踏まえた適切な利用者負担を念頭に、仕組みづくりを検討されたい。また、観光部局と連携し、観光客の移動利便性を高める取組を戦略的に進められたい。

○ 移住定住施策については、新たな移住者を呼び込むだけではなく、移住して定住した方を含め、既に大仙市に居住している方々に住み続けたいと思つていただけるような取組もあわせて展開することが重要であり、府内で連携しながら検討を進め、次期アクションプランに反映されたい。

教育厚生常任委員会

○ 債権管理については、収納率や取立額において、令和6年度目標を達成するとともに過去最高値を更新したほか、県内市町村と比較しても大きな成果を上げており、市の財源確保に大きく寄与していると評価できる。引き続き、令和7年度から開始した収納支援業務委託の成果も検証しながら、適正かつ効果的な債権管理を、より一層進められたい。

○ 決算事業説明書については、事業費の具体的な内訳が十分に示されていないものが見受けられる。事業の妥当性や費用対効果を適切に評価し、議会審査をより充実させるため、今後は、必要に応じて事業費内の主要経費の内訳を示し提出されたい。

産業建設常任委員会

○ 「農業と食」活性化推進事業において、さまざまなPR活動を行つただろうが、その結果から生まれた事業効果や成果についてのチェック、検証が足りないよう感じる。ステップアップするためにも、事業実施後の変化についてさらなる検証を検討されたい。

○ 「若者チャレンジ応援プロジェクト事業費」について、土壤づくりや人材づくりそれぞれにおいて事業展開されていることは評価するが、この事業のようにPR活動や情報発信が肝となつてきている事業については、それをやつ

た結果、どういった反応があったのかについても事業説明書に記載するよう努められたい。

○「大仙市産地酒プロモーション支援事業費」について、酒米等の原材料高騰による市産地酒の値上がりにより、酒蔵の経営も苦慮することが予想され、輸出となればさらにより高が見込まれる。大仙市の魅力を発信する有効な取組であることから、今後もこの事業を継続する場合は、市内酒蔵ともよく協議され事業を進められたい。

○屋内も屋外も含めて市内全ての体育施設が今後も現状のまま存続していくことは困難であると考える。少子化・人口減少も進んでいることから、地域性に意を配しつつ、体育施設や温泉施設など分野を越えた市全体の最適な施設配置を目指す将来構想をまとめの時期に来ていると感じている。施設を廃止することは当然地元住民の方々からの反対もあるうかと思うが、いつかは誰かがやらなければならぬので、今後検討されたい。

○公営住宅について、入居募集を実施しても応募者がおらず、空き戸が発生している現状について何かしらの対策を施すべきと考える。現在募集期間は区切って行っているのだが、住宅使用料は市にとっても収入となることから、入居募集を常時することが事務手続き上難しいのであれば、可能な限り募集する機会を増やし、空き戸解消に向けた取り組みに努められたい。

討論

第3回定例会で討論された内容を紹介します。

議案第96号「令和6年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」に対し、次の意見がありました。

反対討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

予算審議の際、基幹業務システムの標準化移行経費やマイナンバーカード普及推進予算是認められないとして反対した。本決算はその執行であり、承認できない。行政システムの標準化やマイナ保険証は、情報漏えいへの不安を払拭できるものではない。マイナ保険証への一本化により、医療機関で確認する証明書が9種類以上混在し、事務も煩雑となつていて、現行保険証の利用停止の撤回が急務であり、マイナンバーカード取得が事実上強制されていることに納得できない。

賛成討論

安達 成年 議員（大地の会）

市民要望に応えつつ、基金積み増しや順調な市債償還を行っており、財政は健全に維持されている。子育て支援をはじめ、重点施策にも着実に取り組み、決算額以上の効果を感じている。人口減少や決算審査意見を踏まえさらに踏み込んだ事業展開を期待する。交流の場となる地域の施設整備も積極的に進められ、市民から好評を得ている。今後も健全な財政運営を堅持しつつ、公共施設の統廃合も含め、市民に寄り添つて取り組んでいただきたい。

令和7年第3回定例会 賛否一覧

議案等名	会派・議員名	議決結果	大地の会				だいせんの会				新政会				公明党	日本共産党	市民クラブ	佐藤 文子				
			鎌田 正	金谷 道男	大山 利吉	佐藤 育男	後藤 健	山谷 喜元	安達 成年	青柳 友哉	高橋 敏英	佐藤 芳雄	古谷 武美	石塚 柏	橋村 誠	戸嶋貴美子	渡邊 秀俊	小松 栄治	橋本 原昌作	本間 輝男	秩父 博樹	挽野 利恵
議案第96号 令和6年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情第56号 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書		不採択	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○
陳情第61号 再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書の陳情項目のうち、2つ目の「再審開始決定に対する検察の不服申し立てを禁止すること。」の部分		不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
陳情第63号 水路の護岸の修復に関する陳情		不採択	●	●	退	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	○
意見書案第25号 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書		否決	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

賛成者は○、反対者は●、退席者は「退」とします。議長は採決に加わりません。

聞いてみたいな こんなこと



一般質問

質問議員 6人 質問項目 8件

一般質問とは？
皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関する内容はありますか？

APD（聴覚情報処理障害） およびL-iD（聞き取り困難症）について



Q APD（聴覚情報処理障害）
およびL-iD（聞き取り困難症）の症状として「騒がしい場所や早口の会話が聞き取れない」「聞き間違いが多い」「複数人の会話が難しい」などがある。

聞こえているのに聞き取れない。この症状を知つてもらい、身近なところから理解を広げていくべきと考えるが、市の所見を伺う。

A APD・L-iDには明確な定義や診断基準がなく、聞き取りづらさを感じていても、検査では異常が認められないため、周囲からも理解されにくく、認知度も低い状況にある。

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関する内容はありますか？

子どもへの対応例

周囲の方々が協力できること

- ・話し掛ける前に、名前を呼び掛けたり、肩をたたき注意を向ける。
- ・何かをしながら話をしない。
- ・表情豊かに話す。
- ・短くゆっくり話し、ジェスチャーを交える。
- ・文字や絵を提示しながら話す。
- ・聞き取れないことを怒らない。

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にある二次元コードを読み取り、ご覧ください。

まずは、APD・L-iDの症状や、セルフチェックシートなどを、市のホームページや公式SNSに掲載するほか、関係部署とも情報共有しながら、周知に努めていきたい。

主要地方道角館六郷線整備について



金谷 道男
(大地の会)



大仙市の農業政策について



渡邊 秀俊
(新政会)



Q 県による改良工事が進められている主要地方道角館六郷線について、太田地域横

沢・中里の住宅密集地では、

県が検討する「バイパス案」

に対し、地元では、流雪溝

の機能不足や空き家の増加

といった課題解決につなが

らず、増えた道路の維持管

理費がかかり続けるとして

「現道拡幅案」を希望し足

踏み状態にある。市街地整

備については市も関係する



かくろくせん
通称「角六線」沿線の太田地域横沢・中里地区

A 沿線の太田地域横沢・中里地区は住宅が密集し、道幅も狭く、歩道も一部しか整備されていないため、大型車のすれ違いや歩行者の安全確保に課題がある。

「現道拡幅案」は、除排雪の改善が見込まれるが、多額の補償費や長期化の懸念がある。

「バイパス案」は、車両通

行状況の改善が見込まれるが、優良農地の分断や、路線の維持費増、地域の空洞化といった懸念もある。市としては、費用対効果のほか、安全や地域コミュニティの維持、除排雪等などを考慮し、地元の意向を踏まえた進展を望む。引き続き、早期実現に向け、県へ要望していく。

Q 大仙市の底力を高めるには、就業人口の多い農業の活性化が鍵である。米づくりに意欲が戻ってきた今こそ、産業育成への「投資」のチャンスと捉え、後継者が笑顔で自信を持つ取り組める農業を、大仙市から発信していくことを求めめる。

A 国においても、水田政策を令和9年度から根本的に見直すとしている。市としても、地域農業の在り方をしっかりと議論していかなければならぬし、さらなる投資的な振興策を講じる必要性についても認識している。

現在、「農業と食活性化プラン」、「畜産振興プラン」、「第5次農業振興計画」の策定を進めており、農業政策の転換期に対応した施策を取りまとめていく。



後継者が笑顔で自信を持つて農業に取り組む力強い農業の確立に向けて、あらゆる施策を総動員した積極的な農業政策を展開していく。

未地ジヤンボうさぎを活用した 未来展望について



戸嶋貴美子
(だいせんの会)



無償化の流れを前に進め、 さらなる子育て支援を



Q

中仙地域で改良と保存が引き継がれてきた伝統的な家畜であるジャンボうさぎ。

地域振興と飼育普及支援の未来展望について伺う。

A 每年10月に開催される「全国

ジャンボうさぎフェスティバル」、地元小学校のフィールドワークや教職員の研修として畜舎見学が実施されているほか、今年のジャンボうさぎフェスティバルには大曲農業高校畜産部で出店を計画しているなど、教育現場とも連携しながら地域の農業や歴史学習の場としても活用されている。

Q 飼育の普及や促進に対する支援策と今後の方向性について伺う。

A 飼育方法などの研修や飼育ゲージの無償貸し付けのほか、中仙地域総合畜産振興



会小家畜部会に対し配合飼料の購入への支援を行っている。

今後は、多面的な価値を持つジャンボうさぎを次世代へつなぐため、「全国ジャンボうさぎフェスティバル」を継続的に開催し、観光商品や体験型観光と組み合わせ、地域ブランドをさらにつなげたい。

若い世代への普及を図るため、SNSなどを活用して魅力発信するとともに、飼育や普及促進のための支援を継続し、地域の活性化や観光振興につなげていく。

Q

学校給食が無償化となつたが、学用品費、制服・かばんななどの入学準備金、修学旅行費、卒業アルバムなど

が高額な負担となつている。

さらなる子育て支援となるよう、まずは負担の大きな学用品費と修学旅行費の無償化を検討できないか。

A 学用品や修学旅行は保護者に費用負担が生じるため、経済的に厳しい家庭には、就学援助制度で、新入学用品費や毎年の学用品費には一定額を、修学旅行費には実費を支給している。

教育費への支援については、学用品の範囲や、修学旅行の日程や行き先等による金額の違い、制度の持続性など、課題に対する整理が必要である。

無償化は、市全体の子育て支援制度の枠組みの中で考

えていく必要があるため、まずは各校の実態把握と課題整理を進める。

このほか、農業の担い手育成対策について質問しました。



高齢者の交通手段について

Q

「のりのりきっぷ」により、75歳以上や免許自主返納者が年間5千円の交通費助成を受けられるが、交通空白地域に住む方は、1回のタクシー代が高額となることもあるため、そのような市民を救済できる制度設計は可能か。

Q

A 市では、交通ネットワーク再編や住民主体の移動手段導入を視野に次期交通計画を策定中であり、民間タクシー支援拡充は公共交通空白地域解消に向けた施策の中で検討すべきと認識している。

A

交通体系や財政規模が異なるため同様の制度導入は難しいが、高齢者が安心して外出できる移動環境の確保に努める。



大仙市のこんな取り組みが学ばれています

全国各地の議員が、大仙市で取り組む施策について学ぶため視察に訪れています。

担当職員による説明や、活発な質疑応答を通じて、大仙市の実情や工夫を紹介しています。

訪れる側にとつては先進的な取り組みを直接学び、自らのまちの課題解決や新たな政策づくりに役立てる大切な機会となります。受け入れる側にとつても、取り組みを全国に発信し、他自治体からの質問や意見を受けることで施策を客観的に見直すきっかけとなります。

意見交換や情報共有による学び合いを通じて、市の魅力や取り組みを広く発信し、今後のまちづくりに生かしていきます。

令和7年度上半期 全国からの行政視察受け入れ状況

No.	月 日	市町村名	人数	視察項目
1	5月15日(木)	栃木県さくら市	10	・大曲駅前開発について
2	5月20日(火)	群馬県館林市	7	・健幸まちづくりプロジェクトについて
3	5月27日(火)	岩手県一関市	13	・大仙市における空き家対策について ・びおらの支援業務について
4	6月26日(木)	島根県安来市	4	・都市機能の集約と地元商店主の主体的な取組によるまちづくり
5	6月30日(月)	愛媛県西条市	11	・新規就農者の支援及び農業の後継者対策について
6	8月29日(金)	宮崎県宮崎市	1	・学力向上の取組について ・ICTを活用した教育について

A 路線バス利用における一律運賃設定は可能か。

事業者の採算性を踏まえ導入困難であるが、他自治体事例や事業者意見を参考に研究する。

Q 路線バスの一律運賃は民間

いる。

市政懇談会でいただいたご意見・ご要望について

6月21日および23日から27日まで開催した、大仙市議会「市政懇談会」でいただいた意見等をお知らせします。まちづくりや防災をはじめ、幅広い分野にわたり多くの貴重なご意見をいただきました。今後の議会活動や市政運営の参考としてまいります。

※紙面の都合上、ご意見等は一部抜粋して掲載しております。

※市議会ホームページに、当日いただいた112件、全てのご意見等を掲載しております。右側の二次元コードまたはURLからご覧ください。

URL <https://www.city.daisen.lg.jp/archive/p20250411150150>



全てのご意見等はホームページをご覧ください。

【当日の回答】

No.	地域	いただいたご意見	当日の回答
1	大曲	市民の声を聞く機会を増やしてほしい。ワールドカフェ方式の市政懇談会は1日だけで夜限定。他は平日開催のため参加者が限られ、さまざまな年齢、職種の方が集まりにくく、子どもの声も反映されにくい。	ワールドカフェ方式は参加者から「回数を増やしてほしい」との声が寄せられるなど好評でした。今後も議会として工夫しながら検討していきます。市政懇談会は重要な取り組みですので、要望に応じて充実させていきたいと考えています。
2		免許を返納すると市街地に出る手段がなくなる。5,000円の交通費助成はあるが、角間川・藤木地域で1日1本でも循環バスを運行できないか。	ニーズ調査を委員会でも取り上げます。乗り合いタクシーの事前登録もニーズ把握に有効です。市街地から遠い地域への補助額引き上げなども考えられます。
3	神岡	関東圏などへの移住促進PRはどのように行われているのか。他自治体との差別化はあるのか。	大仙市にゆかりのある人には、市民を通じて情報届けたり、公式LINEや地域おこし協力隊のSNSで発信したりしています。ゆかりのない人には、まず市を訪れてもらい、関係人口になってもらうことを重視しています。補助金での誘致競争は避けています。
4	西仙北	現在の議員定数24人について、人口減少に応じた明確な基準を設けるべきではないか。大仙市の定数は県内の他市町村と比べて多いのか少ないのか。高齢の議員が多い中で、今後の議会の活性化をどのように図るのか。	大仙市は東京都の1.4倍の面積があり、24人で市民の声を十分に吸い上げられるかはまだ判断基準がありません。議員数が多いほど地域の声が反映されやすい傾向にあると感じます。定数についてさらに検討が必要です。議員の高齢化は課題ですが、年齢構成は有権者の判断に委ねられるものであり、若年だけ、高齢者だけが望ましいというものではないと考えています。
5		以前も要望したが、中仙イオン付近の丁字路は大型ダンプの出入りが多く危険である。付近の草刈りも自治会の負担で対応している。	状況を把握しており、建設部と協議します。大型ダンプの出入口変更も含め、現場を見ながら対応を検討します。
6	中仙	スクールバスが廃止され、市保有のバスが老人クラブや婦人会で使いづらくなつた。研修や視察に補助を行うことはできないか。	研修・活動する際に交通手段がないことは把握していますので、地域の声として、市に対して、働き掛けや提案を行っていきます。
7		水田利活用補助金の単収設定が中山間地の地域性を考慮しておらず、大仙市平均に届かないと補助金が出ない。団地加算はあるが収量基準は改善されず、農水省に相談しても進展がない。コメは合併前の単収に戻した経緯があるのに、大豆は未対応である。農地維持のため、地域ごとの単収設定と指標明示を求める。	協和地域のような条件不利地では単収が低く、地域ごとの基準づくりが必要と考えています。常任委員会でも議論を重ね、市へつなげていきます。国の補助制度も含め区域割の見直しが必要で、現状の区分は実態と合っていません。特に大豆は収量基準が補助対象に影響するため、早期に結論を出せるよう議論を進めたいと考えています。
8	南外	NPO法人「南外さいかい市」による高齢者無料送迎サービス（市中心部の病院への送迎と診察待ち時間中の野菜販売）について、良い取り組みなので、現在の年間30万円の助成金を増額すれば、週1回以上の実施も可能ではないか。	非常に良い取り組みと認識しています。5月の補正予算で「地域交通対策事業」として実施されており、今後の施策は実績を見て検討します。南外地域はモデル事業であるため、将来的には他地域への拡大も検討してまいります。

No.	地域	いただいたご意見	当日の回答
9	南外	熊対策の根本的な改善策として、森林環境譲与税等を活用し、山に熊がとどまれるような環境（広葉樹・針葉樹混合林化）を整備してほしい。自分もここが好きで移住してきた者として、大仙市の自然や人口対策を頑張っていただきたい。	人命尊重と熊の保護の両立が理想ですが、現状は人命尊重が最優先です。広葉樹・針葉樹混合林化は森林整備事業の一環として進めていますが、効果が出るには時間がかかります。それまでは捕獲や駆除も必要となることをご理解ください。
10	仙北	消防団員から、大会に向けた練習時間が長く負担になり、新しい人が入団しにくいという声もある。山形県では大会を中止した例もあると聞くが、大仙市ではどのような対応が検討されているのか。	団員確保と技術向上の両立が課題です。大会が入団の妨げになる面もあるため、優先すべき事項や両立の方法を踏まえ、検討してまいります。
11		学校統合の話が出ているが、統合場所など、進捗を教えてほしい。	令和14年まで東部で小学校、中学校をそれぞれ1校に統合する方針です。具体的な候補地はまだ決まっていません。必要とされる敷地面積は6～10ヘクタールです。
12	太田	空き家対策の予算はどのように使われているのか。代執行（市が解体し、所有者から費用を徴収する）は行うのか。	風でトタンが飛ぶなど危険な空き家について、所有者や近隣住民による解体等の助成金として使われています。代執行は、費用徴収の困難さや、所有者が市による代執行を期待してしまう懸念があるため、原則行いません。

【行政側へ伝えたご意見等】

No.	地域	いただいたご意見
1		図書館ボランティアを続けているが、大曲小学校の図書室はバーコード管理がなく蔵書数も不明で、専属の司書もない。先生は多忙で管理が難しく、本を増やすだけでなく、ソフト面や管理にも予算を充ててほしい。
2	大曲	農地の受け手を農業公社に相談したところ、自分で探して来るようにとのことだった。受け手を斡旋する仕組みがあればよいのでは。 ^{あっせん}
3		個人情報保護と地域活動の実態との間に矛盾を感じる。敬老会助成金の申請書に、関係する高齢者の住所の番地や生年月日まで記載するよう求められる。活動する側が利用しやすいようにしてほしい。
4	神岡	のりのりきっぷの額が7,000円から5,000円に減額されたが、今後なくなるのではないかと不安である。継続してほしい。
5	西仙北	昔は口頭で連絡があったが、今はインターネットやスマートフォンに頼りがちで、高齢者には情報が届きにくい。災害時に直接口頭で情報を伝える体制を整備してほしい。
6	協和	協和地域の放課後児童クラブは小学校の教室で活動しており、保護者が必ず迎えに行く必要がある。学校まで20分から30分かかる場合もあり、負担が大きい。親の同意の下、定期バスで帰宅させる仕組みを導入できないか。共働き世帯の負担軽減や移住定住促進にもつながる施策として検討してほしい。
7	太田	監視カメラとAI技術を活用し、熊などの害獣を早期に発見できるシステムの導入も有効ではないか。



南外会場



仙北会場



花館会場

総務企画常任委員会行政視察報告

7月7日・8日の2日間、宮城県栗原市と福島県福島市で視察研修を実施しました。

栗原市では「移住定住促進の取組」を研修し、市民・地域・行政が連携して移住相談や空き家活用、住宅助成、婚活イベントなどを展開していました。市民は移住定住コンシェルジュとして交流を担い、地域では商店街での開業が進み、行政は体験住宅や就業支援を行なうなど役割分担が特徴的でした。また、移住支援金や米の支給といった制度、YouTubeやTikTokといったSNSによる情報発信も効果を上げていました。

福島市では、職員主体の業務改善運動「かえるチャレンジ」について研修しました。同市は職員提案による業務改善の取り組みを推進し、令和5年度は120件超の改善で数千時間・数千万円を削減。各種システムの内製化等による業務効率化を進め、良い提案については市長表彰や庁内報で共有するという仕組みが整備されていました。

(総務企画常任委員会
委員長 佐藤 芳雄)



かえるチャレンジを視察（福島市）



移住定住促進の取組を視察（栗原市）

7月8日・9日の2日間、山形県村山市と栃木県矢板市を訪問し、旧校舎を活用した複合施設の事例を視察しました。

村山市の「Link MURAYAMA」では、整備段階から入居希望者・利用者の意見を取り入れながら機能や配置を決定し、民営の宿泊施設と公共スペースのシャワー・シェアキッチンの配置により公民が相互に利便性を高め合う仕組みを実現していました。

矢板市の「泉きずな館」は、公民館・保育所・郷土資料館・社会福祉協議会などを統合。保育所と高齢者サロンの交流会や、旧グラウンドを転用した駐車場整備、稼働率の高い体育館など、地域つながり強化にも寄与していました。一方、エレベーター新設によるコスト増や、市中心部からの移転によるアクセス課題も残していました。

今回の視察では、施設整備が地域の「にぎわい」や「つながり」を重視していた点が印象的で、得られた知見を生かし、柔軟で効率的なまちづくりの推進に努めてまいります。

(教育厚生常任委員会
委員長 山谷 喜元)



中学校旧校舎を活用した泉きずな館（矢板市）



高校旧校舎を活用した Link MURAYAMA（村山市）

教育厚生常任委員会行政視察報告

産業建設常任委員会行政視察報告

7月3日・4日の2日間、北海道北斗市と函館市の視察研修を実施しました。

北斗市では、「雇用支援事業」と「恵まれた交通アクセスを生かした産業振興と雇用の場の創出」を研修しました。市内事業所に就職を目指す受験者に対し、採用試験地までの交通費および宿泊費の助成を実施していました。

市内事業所に対する、求人情報サイトやメディア、チラシなどを活用し求人活動を行う掲載料や配布に係る経費の一部補助をするなど、人手不足解消に向けた事業展開をしておりました。

また、平成28年の北海道新幹線開業に合わせ改称した「新函館北斗駅」周辺においても交通アクセスに恵まれたことにより、駅前地区を中心とした企業誘致の推進や北斗A.I.サテライトを設立し、地元IT人材の確保や、若者の地元定着促進に取り組まれておりました。

函館市では観光施設の視察を行い、多様化するインバウンド観光事業に対応した多言語ガイドボードの設置状況や来訪者向け交通アクセスの情報発信の取り組み状況について研修してまいりました。

(産業建設常任委員会 委員長 挽野 利恵)



観光施設を視察（函館市）



雇用支援等を視察（北斗市）

7月28日、市内公園施設の現状と整備、管理状況の確認のため、現地視察を行いました。

1カ所目の桂公園は、施設の老朽化が進んでいることや、園内高木の根上がりによる外周歩道の起伏が見られました。植栽の繁茂も進んでおり、利用者の利便性と景観を考慮すれば、一部好ましくない状況も見受けられたほか、記念植樹の中には寄贈者が不明なものもあり、伐採しようにも連絡ができないなど、対応に苦慮しているようでした。

2カ所目の中仙地域のドンパン広場は、令和6年度にインクルーシブ遊具等を設置したほか、ステージの修繕や支障木の伐採を行っており、利用者への配慮が行き届いた景観となっていました。

3カ所目の神岡中央公園は、子育て世代の利用が多い公園であり、令和5年度から6年度にかけ、インクルーシブ遊具を設置したほか、園路や憩いの広場の整備に加えてあずまや転落防止柵の改修など安全面を考慮した整備がされておりました。



神岡中央公園



ドンパン広場



桂公園

産業建設常任委員会所管事務調査

(産業建設常任委員会 委員長 挽野 利恵)

産業建設常任委員会行政視察報告

7月3日・4日の2日間、北海道北斗市と函館市の視察研修を実施しました。

北斗市では、「雇用支援事業」と「恵まれた交通アクセスを生かした産業振興と雇用の場の創出」を研修しました。市内事業所に就職を目指す受験者に対し、採用試験地までの交通費および宿泊費の助成を実施していました。

市内事業所に対する、求人情報サイトやメディア、チラシなどを活用し求人活動を行う掲載料や配布に係る経費の一部補助をするなど、人手不足解消に向けた事業展開をしておりました。

また、平成28年の北海道新幹線開業に合わせ改称した「新函館北斗駅」周辺においても交通アクセスに恵まれたことにより、駅前地区を中心とした企業誘致の推進や北斗A.I.サテライトを設立し、地元IT人材の確保や、若者の地元定着促進に取り組まれておりました。

函館市では観光施設の視察を行い、多様化するインバウンド観光事業に対応した多言語ガイドボードの設置状況や来訪者向け交通アクセスの情報発信の取り組み状況について研修してまいりました。

(産業建設常任委員会 委員長 挽野 利恵)

7月28日、市内公園施設の現状と整備、管理状況の確認のため、現地視察を行いました。

1カ所目の桂公園は、施設の老朽化が進んでいることや、園内高木の根上がりによる外周歩道の起伏が見られました。植栽の繁茂も進んでおり、利用者の利便性と景観を考慮すれば、一部好ましくない状況も見受けられたほか、記念植樹の中には寄贈者が不明なものもあり、伐採しようにも連絡ができないなど、対応に苦慮しているようでした。

2カ所目の中仙地域のドンパン広場は、令和6年度にインクルーシブ遊具等を設置したほか、ステージの修繕や支障木の伐採を行っており、利用者への配慮が行き届いた景観となっていました。

3カ所目の神岡中央公園は、子育て世代の利用が多い公園であり、令和5年度から6年度にかけ、インクルーシブ遊具を設置したほか、園路や憩いの広場の整備に加えてあずまや転落防止柵の改修など安全面を考慮した整備がされておりました。



神岡中央公園



ドンパン広場



桂公園

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



たかはし
高橋 志由 さん (横堀小学校6年)

■私が学校で頑張っている活動は委員会活動です。私は図書委員会に所属しています。全校のみんなに本を好きになってもらえるように、意見を出し合いさまざまな取り組みについて考えています。■私の将来の夢は看護師になることです。その夢に向かって、今から人と関わることを大切にしています。看護師の仕事は、患者さんや先生方とたくさん関わる機会があります。その時に優しく接することができるよう、言葉遣いなどを気を付けています。■理科や国語、算数などの勉強も頑張っています。難しい問題もありますが、家庭学習でも復習に取り組み、未来の自分のために努力しています。この努力を、これからも続けていきたいです。

12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27	28 本会議 議案等上程	29
30	12/1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 一般質問	9 本会議 一般質問等	10 各常任委員会 議案審査等	11 各常任委員会 議案審査等	12	13
14	15	16	17	18 本会議 委員長報告等	19	20

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵送・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX・番号：0187-62-8822（議会事務局専用）
- ③メール・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらの二次元コードからメールを作成いただけます。



議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。

傍聴をご希望の方は、議会開会日に、市役所大曲庁舎3階、議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

12月定例会で審査される請願・陳情は、11月19日(木)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集後記

委員長

挽野 利恵

■身の引き締まる思いで臨んだ改選後初の臨時議会。新しい議長・副議長をはじめ、各常任委員会等の構成が決まり、新体制での議会活動がスタートしました。■広報広聴常任委員会としましては、議会の活動を分かりやすく市民の皆さんに伝えるとともに、市民の声を議会に届ける双方向のコミュニケーションを大切にしてまいります。■本号では、令和6年度の決算審査や9月定例会の一般質問・議案審議のほか、6月に開催した市政懇談会でいただいた皆さまの貴重なご意見も紹介しています。■皆さんに読みやすく、身边に感じてもらえる紙面づくりに努めてまいりますので、どうぞ今後も、市議会だより「あなたのギカイ」をよろしくお願ひします。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram

あなたのギカイ 16